

男性育休も話題に

女性協拡大常任委員会

7月9日（日）に、民放労連女性協拡大常任委員会が、各地からWEB会議システムを中心に、労連本部、各地連女性協担当者ら総数一七名が参加しました。

最初に各地連女性協担当者より、2023年春闘の成果及び課題などが報告されました。今年の特徴は、ロシアのウクライナ侵攻の影響などによる歴史的な賃高騰の対応として切実な賃上げ要求を行い、大幅なベースアップを勝ち取った多數の労組についての報告がありました。

また、男性の育休取得についての関心が年々高まつ



ており、実際に男性が育休を取得した職場や取得期間について活発な情報交換がされました。しかし、各局と共に男性の育休取得期間は長くても一ヶ月間と、女性

の取得期間に比べてまだ短い現状も浮き彫りになりました。

後半は、元TBSアナウンサーで「おっさん社会が生きづらい」の著者でエッセイストとして活躍されている小島慶子さんにご参加いただき、現在の民放ではコンテンツに関わる中枢には女性局長がほとんど存在しないことの問題点や、男性も介護経験者など多様性のある人材の管理職への登用が必要なことなどをお話をいただきました。

2023年の「全国女性のつどい」については、関東地連が開催担当です。11月11日（土）に東京・水道橋にて、リアル参加を基本とした開催準備を進めています。